

「痛みと再生」を掲げ、さまざまな先端医療を提供

内視鏡手術と再生医療で腰痛に対する低侵襲な日帰り手術を提供

「痛みと脳・神経後遺症に悩む人たちをその痛みから解放する」というコンセプトを掲げ、東京・表参道の地で身近な医療から先端医療までを提供している表参道総合医療クリニック。脳神経外科の専門医として数多くの患者を診てきた実績のある田中聡院長に、低侵襲な腰痛に対する日帰り手術、先進的な再生医療について聞いた。

院長 田中聡



2010年、大阪医科大学医学部医学科卒業。NTT 東日本関東病院、湘南鎌倉総合病院、稲波脊椎関節病院、森山記念病院などで脳神経外科医として勤務、研鑽を積む。2023年3月、表参道総合医療クリニックを開院。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。日本脊椎病学会認定脊椎椎髓外科専門医。



新しい治療の形を提供

表参道総合医療クリニックは「痛みと再生」をキーワードに痛みに対する総合的な医療を提供している。

脳神経外科の専門医として実績のある同クリニックの田中聡院長は、保険診療では適切な治療法がない脳卒中の後遺症に悩む患者を多数診察する中で、再生医療などの先進的な治療の可能性を追求したいと感じるようになったという。同クリニックでは保険診療に限定せず、進んだ医療を積極的に取り入れて適切なオーダーメイド医療を提供している。

低侵襲な腰痛日帰り手術などさまざまな先端医療を提供

同クリニックの「腰の日帰り手術」では、患者の病気の要望に応じて「PED」（経皮的内視鏡下椎間板摘出術）、「PLDD」（椎間板ヘルニアのレーザー治療）、「PEL」（脊柱狭窄症内視鏡下手術）や「PDR法」（経皮的椎間板再

生治療）など手法を使い分け

PEDは椎間板ヘルニアに対して行う日帰り内視鏡手術で、腰痛の原因である椎間板ヘルニアを摘出する。確実に治したい人向けの根治的治療法だ。同クリニックでは専門性が非常に高い局所麻酔での内視鏡手術を実施。内視鏡を入れるための穴（約8mm）を開けるだけで、身体への負担も軽くて済む。

PLDDは椎間板ヘルニアに対するレーザー治療だ。レーザーを椎間板内の髄核に照射し椎間板を縮小させ、神経の圧迫を軽減し痛みを改善する。施術は1時間弱と、短期間で社会復帰したい人向けの治療方法だ。

PELは脊柱管狭窄症の低侵襲日帰り内視鏡下手術だ。従来の術式では長期入院が必要であり、背中や腕の一部が、全身麻酔が必要などの理由から内科的な合併症のある患者には適用できないなどの制約があったが、同クリニックでは小さな切開で済み、局所麻



酔で日帰り手術が可能。特に治療中の重篤な病気があり、全身麻酔での手術が受けられない高齢の患者には利点が多分に大きくなっている。

PDR法は、損傷した椎間板の再生治療であり、様々な論文で注目されている。患者の血液より抽出した濃縮血小板由来の成長因子と幹細胞上清液を穿刺針で椎間板に挿入し、血管造影透視装置を使って損傷した椎間板に投与する。

いずれの治療も侵襲の少ない術式だが、同クリニックでは基本的には全身麻酔は用いない。正確な技術が要求される内視鏡下手術も、脊椎手術での低侵襲を追求する田中院長をはじめ、経験豊富な専門医によって身体への負担が少ない局所麻酔での手術を可能にしている。

また、脳卒中の後遺症に対する再生医療も同クリニックの治療の柱の一つだ。脳梗塞や脳出血くも膜下出血などの脳卒中の後遺症に対して、幹細胞

上清培養液を点滴するサイトカインカクテル療法を用いた先端治療を提供している。

サイトカインカクテル療法では、幹細胞などがつくる成長因子やサイトカインがダメージを受けた脳の組織の修復を促進し、脳血管障害による運動障害・認知障害の改善が期待できる。今までは根本的な回復が困難といわれていた脳卒中や脊髄損傷の後遺症などに対し、脳や神経に刺激を与え、幹細胞の神経細胞再生能力の効果をより高めることを目的とした損傷された箇所を再構築を目指す方法だ。

表参道総合医療クリニックは、患者の負担を軽減することに特化した治療で、痛みに対する総合的な医療を提供し続けている。

表参道総合医療クリニック

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-46-16
イル・チェントロ・セレーノ1F

TEL 03-6805-0328

https://www.omotesando-amc.jp/

【診療時間】10:00~19:00

※完全予約制

【休診日】木曜午後・祝日

※保険適用外自由診療

PLDD手術費

腰椎:1カ所825,000円(税込)

PED法:1カ所1,540,000円(税込)

